

黒河(くろこ)の会便り 第 26 号

◆黒河道トレッキングのおしらせ

春うらら、国史跡に指定された黒河道を歩きます。 ぜひご参加ください。

昨年 4 月には第 1 回雑事登りとして、地元で採れた筍などを背負い奥之院御供所に奉納しましたが、今回は「世界文化遺産・紀伊山地の霊場と参詣道」への追加拡大登録を願ってのトレッキングです。

7 月トルコ・イスタンブールでの第 40 回世界遺産委員会の審議会に和歌山県では黒河道ほか 22 ヶ所を追加登録申請中です。

高野参詣登山 世界遺産拡大登録の審議へカウントダウン
(健脚・中級向き)
国史跡黒河道トレッキング 約 19 キロ
と久保小の桜

平成 28 年 4 月 9 日(土)
集合：JR・南海橋本駅前 8 時 10 分
解散：高野町役場前 16 時 00 分
参加費：500 円 当日払い(傷害保険料・資料代として)

平成 27 年 10 月に国史跡指定された高野参詣道で高野七口のひとつ黒河道を歩き、橋本から峠越えを重ねて高野山に向かいます。例年では昼休憩の久保小学校の桜が見頃の時期です。(小雨決行)

黒河道(くろこみち)
黒河道は高野参詣道で、大和国(奈良県)から紀伊半島(和歌山県)にかけての古道を利用することから、大和国と紀伊半島の橋本(和歌山県橋本町)から紀伊半島(和歌山県)まで、文治 9 年(1134 年)、奥の細道が高野参詣道に指定された。この道を歩いた足跡が「黒河道」(黒河)とされ、黒河が高野山(和歌山県高野町)から高野山(和歌山県高野町)まで、久保小・市平橋を過ぎ、丹波川を渡り、土佐川(和歌山県高野町)を過ぎ、紀伊半島(和歌山県高野町)まで延びた。この古道が黒河道とされ、当時、旅人などが利用した道であり、主要な高野参詣道の一つであったとされている。

世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の拡大登録
政府は 2016 年 7 月 27 日(土)に、世界遺産の登録申請書を国連世界遺産センターに出し、UICN(国際自然保護連盟)の審査が行われ、6 月 11 日から 16 日に、和歌山・高野町で、高野参詣道(黒河道)の追加登録を申請した。この申請は、7 月 10 日から 20 日に、トルコの第 40 回世界遺産委員会の審議会で審議される。和歌山県では、黒河道のほか、22 ヶ所を追加登録申請する。

久保小学校 平成 25 年 4 月 13 日撮影

主催：高野七口再生保存会
共催：黒河の会・橋本観光ガイドの会
協力：応其寺・定福寺・高野口文化財研究会・ふる里の山に花をの会



- ・今回の登山は、班分けせずに、先立ちに続いて歩きます。途中とアンカーにガイドが付きます。
- ・ネットの噂ではリタイヤー出来ないコースと言われている様ですが、救急の準備は行います。
- ・途中の久保小学校(休校中)では満開の桜が予想されます。おたのしみに！



実施日： 4 月 9 日(土) 小雨決行(当日 6:00 時現地に気象警報が出ている時は中止)

集合場所： JR・南海橋本駅前 8:10 分 集合

解散場所： 高野町役場前 16:00 分 頃

参加費： 500 円 当日払い(傷害保険・資料代)

コース： JR・南海橋本駅～応其寺～定福寺～明神ヶ田和～市平橋～粉撞峠～森林公園～高野町役場前で解散(近くの警察前バス停から高野山駅行きバスあり)

主催： 高野七口再生保存会 **共催：** 黒河の会・橋本観光ガイドの会

協力： 応其寺・定福寺・高野口文化財研究会・ふる里の山に花をの会